



慶應義塾大学グローバルCOEプログラム

# 論理と感性の先端的教育研究拠点

慶應義塾大学 CARLS 哲学・文化人類学グループ

## New Directions in Medical Anthropology

1 : 医療人類学ワークショップ 2009年1月23日(金) 10:45 開始

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス東館GSEC LAB

大沼麻実(慶應義塾大学社会学研究科D1) 精神疾患に関わる疾病分類へ〈関係障壁〉が導入されることによる影響 —DSMの改訂に対する検討から医療化の動向を探る—

生田倫子(Carls共同研究員) 理不尽な信念やイデオロギーの説得過程に関する論理階梯論の適用

2 : 医療人類学の最前線II: 国家、感染、バイオポリティックス

基調講演: **Margaret Lock** マッジル大学 医療人類学

日時: 2009年1月23日(金) 13:00

会費無料・事前登録は不要

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館GSEC LAB

<http://www.keio.ac.jp/access.html>

今回は、北米・医療人類学の第一人者であり、日本でも『脳死と臓器移植の医療人類学』、『更年期: 日本女性が語るローカル・バイオロジー』、『都市文化と東洋医学』等の著書で知られるマーガレット・ロック先生をお迎えし、遺伝、老い、病、リスクについてお話いただきます。また遺伝学研究・生命倫理(1月10日)、感染症研究(1月23日)の先生方に、医療をめぐる人類学、社会学、歴史学での最新の研究をご報告いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。(会費無料、事前登録不要、転送自由です)

**Margaret Lock** (マッジル大学 医療人類学) **Genomics and the State: Is an Era of NeoEugenics in the Offing?**

**美馬達哉** (京都大学 医療社会学・脳生理学) **リスク・パニックとしての新型インフルエンザ**

**鈴木晃仁** (慶應大学 医学史) **Measles and the Transformation of Spatio-Temporal Structure of Modern Japan**

**香西豊子** (東京大学 医学史) **「波と粒」——幕末日本における『感染』概念**

**Peter Doshi** (MIT 医療政治学/ History, Anthropology, and Science, Technology and Society) **Counting Sickness: Epidemiology & Its Missing Patients**

総括コメント **市野川容孝** (東京大学 医療社会学)

**宮坂敬造** (慶應大学 文化人類学)

司会 **北中淳子** (慶應大学・医療人類学)

主催・企画 慶應義塾大学内・相互的感情身体知の文化医療人類学・人間科学研究会

慶應義塾大学GCOE「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」文化人類学チーム

Centre for Advanced Research  
on Logic and Sensibility